

## 郡司会長あいさつ

2015年度民主党茨城県総支部連合会定期大会に御参集頂いた党员、サポーターの皆様にご心から敬意を表します。

また、本日の大会に御臨席頂いている連合茨城・和田会長に深く感謝申し上げます。

民主党は海江田前代表の辞任を受け、1月18日に臨時党大会を開き、自治体議員、党员、サポーターが参加する形で代表選挙を実施し、第11代代表に岡田克也衆院議員を選出しました。

先立つ昨年末に、安倍内閣は大義なき党利党略の解散・総選挙を実施しました。茨城では県議選と初めての同日選挙となり、手探りの取り組みとなりました。

結果は、総選挙では5区・大畠章宏氏の連続9選に加え、1区・福島伸亨氏も再び議席を獲得することが出来ました。

県議選では、ひたちなか市で新人が当選し、土浦市では現職の総選挙出馬により惜敗しましたが、現有5議席を確保しました。

総選挙、県議選とも議席に届かなかったものの、次回に繋がる結果を残す戦いを展開してくれたこと、更に擁立に至らず比例区のみでの取り組みとなった選挙区においても御支援を賜ったことに対し、改めて感謝と御礼を申し上げます。

本来であれば党本部の活動方針を受け、然る後に県連大会となる流れの筈が、今年は異なって開催されていますが、党本部も了承の上でのことでもあります。

既に明らかになっている方針では、民主党は再び国民の信頼を取り戻すために、「生活者」、「納税者」、「消費者」、「働く者」の立場に立ち、多様な価値観や生き方をお互いに尊重する社会、自らの幸せを追求しながら、同時にお互いに支え合う共生社会を目指します。そのために、未来志向の「改革政党」でなければならないと考えています、として、党の立ち位置と目指すべき社会像を示しています。

選挙総括は、来週にも各県、候補者などからの意見を集約し、3月1日の大会に公表する準備となっており、本日は県内各総支部からの総括を活かしたものと提案しております。

国会の動向は、政府提出法案、例えば安保法制やアベノミクスを取り繕うための岩盤規制緩和である労働法制、農協法、医療介護関連法などが争点となり

ます。加えて今年は戦後70年の節目となることから、いわゆる「談話」や核廃絶に向けた論議が活発に展開されることと予測されます。

一方で、今年是全国的には統一自治体選挙の年であり、本県では県議選を除く各市町村における五月雨式選挙が続きます。

一強と言われる与党に対峙する力は、地道に地域に党の議員を育てることが肝要であることは誰もが理解していることで、県連としても女性の擁立も考慮し、各総支部との連携を強めて参ります。

最後に一つ嬉しいご報告をいたします。

本県の民主党を一貫して指導して頂いている大畠章宏議員が、この度衆議院において永年勤続25年の表彰を受けられました。

支援者とともに喜び合いたいと思います。おめでとうございます。

まだまだ一足飛びに好転する訳にはいかない状況が続きます。挫けずに自らを鍛えることを愚直に取り組みます。

御支援を頂いている各級議員、党員、サポーターの皆様とともに奮闘することをお互いに誓い合い、私のあいさつとします。